

生演奏で楽しむ音楽科

～心豊かなひととき～

<第7回講義>

2023年7月7日(金)

講師 鈴木 孝紀 先生
伴奏 宮川 真由美 先生



「楽器の魅力と表現力 ジャズクラリネット」と題して鈴木孝紀氏より、ジャズの世界で創世期より華々しい活躍をしてきた**クラリネット**について、ジャズの歴史を辿りながら話を聞きました。

ジャズは 1800 年代後半から、米国はルイジアナ州の港町ニューオーリンズでアフリカ系アメリカ人(黒人等)が歌っていた労働歌やブルースに他の音楽が融合してジャズが生まれたとも言われますが、遠いアフリカから連れてこられたアフリカ人が異国のアメリカで華々しく声を上げ広まっていきました。

講師の説明を受けながらプログラムに沿ってクラリネットとピアノ伴奏の美しい音色にうっとり聞き惚れてしまいました。

プログラム

ブルース

- ・ザ・エンタイナー (スコット ジョプリン 1902)
- ・テキサス モアナ ブルース (レイ アームストロング 1924)
- ・ベイスン ストリート ブルース (スペンサー ウィリアムス 1926)
- ・聖者の行進 (作曲者不詳)
- ・ホウエン アイ グロウ トゥー オールド トゥ ドリーム
(シグマンド ロベルグ 1934)
- ・ムード インデゴ (デューク エリントン 1930)
- ・オンザ サニーサイド オブ ザストリート
(ジェイムズ フランシス “ジミー” ムフフ 1930)
- ・メモリーズ オブ ユー (エビー ブレイク 1930)
- ・ドントゥ ビー ザツツウ ウエイ
(エドガー サンプソン — ベニー グッドマン 1938)
- ・ムーン ライト セレナード (グレン ミラー 1939)

ビバップ

- ・ナウズ ザ タイム (チャーリー パーカー 1945)
- ・アンソロポロジー (チャーリー パーカー 1949)

〔ブラジル音楽におけるクラリネット〕

ショーロ ブラジルのポピュラー音楽で、サンバやボサノバなどのブラジル音楽誕生に影響を与える。

- ・ベ シ コスティス (ヴァルジール アゼンベード 1951)
- ・トリステ (アントニオ カルロス ショビン 1966)

〔フランスのクラリネット〕

ジプシー ジャズ

- ・マイナー スィング (ジャンゴ ラインヘルト 1937)
- ・メイド イン フランス (ビレリ ラグレーン 2001)

最後にアンコールとして「すずかけの小道」をジャズ風にアレンジして楽しく聞かせていただきました。2時間はとても短く感じる楽しい講座でした。

